

小学1年教科書から見える幼児の言葉の指導
——小学1年教科書（国語・算数・生活・道徳）の
最初の単元の語彙分析を通して——

First grade of elementary school Teaching infant Language
as seen from Textbooks:

Through Vocabulary analysis of the first unit of the
first grade elementary school Textbook
(National language, Math, Life, Morals)

城 重幸

Shigeyuki Jyo

はじめに

1998年ころから小1プロブレムが顕在化すると、幼小連携が言われるようになった。そんな中、筆者は小1プロブレムが発生している学級の授業を何度も参観する機会を得ることができた。それらの学級は、ある特定の子になかなか担任の指示が届かず、その子が教室内を歩き回ったり他の子を叩いたりするため、正常に授業ができない状態だった。これらの授業を参観して、ある特定の子に担任の指示が通らないのは、小学1年教科書の最初の単元に使われている言葉の習得が不十分のまま入学していることにも原因の一つがあるのではないかと考えた。

ところで、小学1年教科書（国語・算数・生活・道徳）の最初の単元は、いずれも絵や写真に言葉や文が添えられていて、言わば絵本みたいに構成されている。この小学1年の最初の授業では、その教科書を使い、担任の発問や指示により、絵や写真、言葉を手掛かりにして、内容を読み取ったり読み取ったことを言葉で表現したりしながら、学習目標を達成するのである。従って、この最初の授業では、どうしても園児が卒園までに習得した言葉を駆使しないと授業は成立しないのである。

このことから、小学校の最初の授業に際して担任の指示が通らず、小1プロブレムを起こす原因の一つは、卒園するまでに習得しているはずの言葉、即ち、小学1年教科書の最初の単元に使われ

ている言葉を未習得のまま入学していることにあるのではないかと考えた。

そこで、本稿では、小学1年教科書（国語・算数・生活・道徳）の最初の単元に使われている言葉はどんな言葉かを調査し、園児に卒園までに身に付けさせておくべき言葉を明らかにすることとした。その上で、小学1年に繋ぐ保育所・幼稚園・認定こども園等の言葉の指導について私見を述べることにした。

研究の方法

仮説

小学1年教科書（国語・算数・生活・道徳）の最初の単元に使われている言葉は、保育所・幼稚園・認定こども園等と小学校とを繋ぐ重要な単元であるので、園児の園における日常生活に必要な基本的な生活語彙である。

調査研究の方法

全国で最も多く採用されている東京書籍の小学1年教科書（国語・算数・生活・道徳）の最初の単元に使われている言葉を全て拾い上げる。

次に、拾い上げた言葉の使用数を調べ、使用数が多い訳を検討し、小学1年教科書の最初の単元に使われている言葉はどのような言葉なのかを明らかにする。

最後に、保育園・幼稚園・認定こども園等における園児への言葉の指導について、私見を述べることにする。

結果と考察

語彙数について

小学1年教科書（国語・算数・生活・道徳）の最初の単元に使われている品詞別総語彙数を下の表1に示した。

表1 小1教科書最初の単元品詞別語彙数

品詞名\教科名	国語	算数	生活	道徳	総数	初出
名詞	580	308	178	203	1169	537
動詞	203	59	75	63	404	144
形容詞	19	7	8	13	47	20
形容動詞	14	0	2	1	17	9
助詞	211	49	39	72	371	17
助動詞	34	2	14	11	61	10
副詞	6	1	5	5	17	13
感嘆詞	7	0	4	13	24	12
接尾語	19	19	0	0	19	5
オノマトペ	17	1	2	1	21	16
間投詞	2	0	1	1	4	1
計	1112	427	328	383	2154	784

語彙数についての考察

小学1年教科書（国語・算数・生活・道徳）の最初の単元に使われている語彙数は2154語であった。この2154語という結果から、保育園・幼稚園・認定こども園等では、園児に少なくとも2000語以上を習得させて卒園させなければならないと考えた。

一方、初出の言葉だけ数えると、784語であったが、例えば、「おかあさん」という言葉一つとっても「母」、「母上」、「ママ」、「かあちゃん」、「おっかさん」など3つ以上の言い回しがあることや「父」、「婆」、「兄」等の周辺語があることから、784語の4倍くらいの3000語程度は、園児に習得させて卒園させなければならないのではないかと考えた。

上記二つのことから、保育所・幼稚園・認定こども園等の保育者は、園児に3000語程度の言葉を習得させて卒園させる責務を負っているということである。

名詞について

名詞の結果

小学1年教科書の最初の単元に使用されている言葉の中では、名詞が1169語と圧倒的に多く用いられていた。その全ての名詞を、人物・身体・個人名・代名詞・動物・昆虫・鳥・魚・植物・果物・学習・学校施設・学校行事・音楽・体育・数・生活・建物・道具・飲食・服・遊び・色・交通・天気・時・土地・方向・程度・医療に分類し、下の表2に示した。

表2 名詞の分類別使用数

分類	語	回数	分類	語	回数	分類	語	回数	分類	語	回数
人物133	子	32	身体	口	9	個人名	もりけんた	1	動物	ライオン	2
	先生	23		鼻	6		ゆみ	1		栗鼠	2
	女	19		耳	6		皆	5		馬	1
	子供	9		髪	4		僕	3		オタマジャクシ	1
	お父さん	4		頬	4		自分	2		キリン	1
	お母さん	2		足	3		私	2		子豚	1
	人	3		笑顔	3		あち	1		ゴリラ	1
	おじいさん	2		毛	3		こち	1		猿	1
	大人	2		背中	3		これ	1		蛇	1
	おばあさん	2		両手	3		こんな	1		土竜	1
	友達	2		片手	2		誰	1		蟻	5
	仲間	2		睫毛	2		どこ	1		ちょうちょ	5
	仲良し	2		指	2		何	1		トンボ	2
身体113	用務員	2	個人名11	あくび	1	動物105	犬	12	昆虫20	アゲハチョウ	1
	客	2		足跡	1		猫	10		アメンボ	1
	赤ちゃん	1		腕	1		豚	8		カタツムリ	1
	お兄さん	1		お腹	1		兎	7		ダンゴ虫	1
	おばさん	1		体	1		蛙	7		デントウ虫	1
	客	1		脚	1		熊	7		羽	1
	校長先生	1		舌	1		鼠	7		蜜蜂	1
	上級生	1		涙	1		狸	5		モンシロチョウ	1
	代表者	1		眉毛	1		バンダ	5		バンダ	3
	パパ	1		名前	4		河馬	4		鳥	3
	ママ	1		あい	2		小鳥	4		鳥	1
	幼児	1		けんた	2		牛	3		燕	1
	身体113	手		23	かわのゆみ		1	狐		3	鯉
顔		11	つじさとし	1	鱈	3	イルカ	2			
目		10	とよたかずひこ	1	しっぽ	2	金魚	2			

分類	語	回数	分類	語	回数	分類	語	回数	分類	語	回数		
魚	海老	1	学習	ページ	2	学校施設	ブランコ	1	数	頭(数詞)	6		
	亀	1		リュックサック	2		砂場	1		数	4	5	
	魚	1		赤丸	1		体育館	1		中庭	1	8	5
	メダカ	1		色鉛筆	1		プール	1		便器	1	7	4
	アメリカザリガニ	1		絵具	1		トイレ	1		遊具	1	羽(数詞)	3
植物67	花	10	学習	縁起	1	学校行事13	遠足	4	数	ひとつ	3		
	チューリップ	8		鉛筆入れ	1		音楽会	2		ひとり	3		
	葉	7		お話	1		運動会	1		9	2		
	木	6		学習	1		学習発表会	1		10	1		
	菊	4		紙	1		歓迎会	1		11	1		
	朝顔	2		教科書	1		身体測定	1		12	1		
	梅	2		下校	1		体重計	1		13	1		
	種	2		色紙(いろがみ)	1		身長計	1		24	1		
	土筆	2		下書き	1		入学	1		114	1		
	鉢植え	2		下書き	1		入学式	1		個(数詞)	1		
向日葵	2	授業	1	カスタネット	2	数字	1						
水草	2	正解	1	鈴	2	何人	1						
レンゲ	2	説明	1	タンプリン	2	枚(数詞)	1						
パンジー	2	セロテープ	1	トライアングル	2	4人	1						
植物67	葦	1	学習	相談	1	音楽28	トランペット	2	生活82	挨拶	9		
	犬の豌豆	1		帳面	1		拍	2		言葉	5		
	落ち葉	1		作り	1		バチ	2		声	4		
	カボチャ	1		提出	1		笛	2		用意	4		
	茎	1		読書	1		木琴	2		握手	3		
	クローバ	1		バッグ	1		合奏	1		事	3		
	桜	1		発表	1		メロディオン	1		生活	3		
	タンポポ	1		話	1		コーラス	1		物	3		
	蔓	1		表紙	1		小太鼓	1		安全	2		
	ナズナ	1		ひらがな	1		指揮	1		元気	2		
ドングリ	1	ブック	1	指揮台	1	散歩	2						
果物10	蜜	1	学習	筆箱	1	体育23	指揮棒	1	生活82	所	2		
	芽	1		星印	1		太鼓	1		旗	2		
	藻	1		メモ	1		伴奏	1		眼鏡	2		
	莓	1		文字	1		ピアノ	1		輪	2		
	林檎	3		物差し	1		ポール	3		後片付け	1		
	果物	1		休み時間	1		綱引き	2		落とし物	1		
	西瓜	1		練習	1		鉄棒	2		鬼	1		
	蜜柑	1		連絡帳	1		競争	1		お願い	1		
	机	12		算数	4		逆上がり	1		お化け	1		
	本	12		体育	3		準備体操	1		お迎え	1		
学習166	鉛筆	11	学習	道德	3	体育23	スケート	1	生活82	お別れ	1		
	椅子	10		国語	1		スタート	1		返り	1		
	絵	8		花壇	7		砂遊び	1		気	1		
	ランドセル	6		池	5		スポーツ	1		気持ち	1		
	絵本	5		学校	5		体育座り	1		子育て	1		
	ブロック	5		運動場	4		体育帽子	1		数物	1		
	給食	4		塀	3		玉入れ	1		七五三	1		
	クレヨン	4		教卓	2		ダンス	1		修理	1		
	歌	3		靴箱	2		ドッジボール	1		紹介カード	1		
	カード	3		校庭	2		縄跳び	1		水道	1		
学習166	黒板	3	学校施設54	図書室	2	数99	平均台	1	生活82	姿	1		
	黒板けし	3		本棚	2		前回り	1		姓名	1		
	字	3		丸椅子	2		リンク	1		掃除	1		
	ノート	3		ロッカー	2					大丈夫	1		
	勉強	3		兎小屋	1					竹箒	1		
	拳手	2		傘立て	1					棚	1		
	自己紹介	2		教室	1					千歳飴	1		
	姿勢	2		靴箱	1					仲	1		
	質問	2		校舎	1					ハイタッチ	1		
	線	2		校門	1					初め	1		
登校	2	飼育舎	1										
名札	2	ジャングルジム	1										

分類	語	回数	分類	語	回数	分類	語	回数			
生活	布団	1	交通	スプーン	2	天気	車輪	1			
	プレゼント	1		苺ジャム	1		飛行機	1			
	ベッド	1		おかず	1		船	1			
	盆	1		お茶	1		ボート	1			
	枕	1		給食作り	1		駅	1			
	マッチ棒	1		牛乳	1		横断歩道	1			
建物15	様子	1	遊び25	牛乳パック	1	土地6	交通安全	1			
	地蔵	1		クッキー	1		道具箱	1			
	飲食	窓		3	ケーキ		1	かけっこ	3		
		家		2	紅茶		1	遊び	2		
		ガラス		2	御馳走		1	ゲーム	2		
	ドア	2		コップ	1		縄跳び	2			
	カーテン	1		皿	1		クレー(ジャンケン)	1			
	ゲート	1		食事	1		竹馬	1			
	玄関	1		水筒	1		ブランコ	1			
	神社	1		食べ物	1		水遊び	1			
	扉	1		卵	1		お面	1			
	流し	1		団子	1		サイコロ	1			
	道具22	如雨露		2	服46		傘	10	時12	シャボン玉	1
		移植ごて		1			帽子	10		達磨	1
		植木鉢		1			靴	6		花火	1
団扇		1	上履き	2		風船	1				
斧		1	靴下	2		水鉄砲	1				
ケース		1	体育服	2		赤	10				
スパナ		1	長靴	2		黄色	10				
台		1	着物	1		白	9				
網		1	シャツ	1		緑	8				
道具箱		1	スカート	1		ピンク	5				
バケツ		1	ズボン	1		色62	青	4			
箱入り		1	半ズボン	1			黒	4			
ハサミ		1	服	1			紫	4			
鉢		1	服装	1			オレンジ	2			
バネ		1	ベスト	1			色	1			
歯ブラシ	1	洋服	1	喜緑	1						
紐	1	ワンピース	1	編	1						
袋	1	車いす	2	茶色	1						
蓋	1	自動車	2	肌色	1						
箆	1	タイヤ	2	水色	1						
容器	1	横断旗	2	天気38	雨		15				
水	3	一輪車	1		虹		8				
御飯	2	オール	1		雲		3				
飲食46	生活	回数	分類	語	回数		分類	語	回数		
										青空	2
						お日様				2	
						影				2	
						空				2	
						お天気				1	
						太陽				1	
						月				1	
						夜空				1	
						野原				2	
						石ころ				1	
						海				1	
						岡				1	
						ぬいぐるみ				2	
						椅子取り				1	
お遊戯	1										
クイズ	1										
陸	1										
あした	3										
時間	3										
時	2										
一日	1										
お昼	1										
終わり	1										
頃	1										
前	7										
後ろ	4										
横	4										
上	3										
下	3										
仲	2										
上手(じょうず)	2										
沢山	2										
いっぱい	1										
上(じょう)	1										
薬	2										
医者	1										
消毒	1										
治療	1										
怪我	1										

名詞についての考察

多用されている名詞を分類別に見てみると、人物関係は [子が32回、先生が23回、女が19回、男が13回]、身体関係は [手が23回、顔が11回、目が10回]、動物関係は [犬が12回、猫が10回]、植物関係は [花が10回]、学習関係は [机・本が12回、鉛筆が11回、椅子が10回]、数関係は [3(数)が11回]、生活関係は [挨拶が9回]、服関係は [傘・帽子が10回]、色関係は [赤、黄色が10回]、天気関係は [雨が15回、虹が8回] などであった。また、多用されていなくても、他に、個人名、代名詞、昆虫、鳥、魚、果物、学校施設、学校行事、音楽、体育、教科、建物、道具、飲食、交通、遊び、土地、方向、時、程度、医療と分類したように、そのほとんどを園児が、保育所・幼稚園・認定こども園等の通常の生活の中で身に付けることができる生活する上で必要な言葉ばかりであった。つまり、小学1年教科書(国語・算数・生活・道徳)の最初の单元では、教科名等の小学校入学後に出会う言葉を除き、園児が、保育所・幼稚園・認定こども園等の通常の生活の中で習得するであろう基本的な生活語彙としての名詞が使われていることが分かったのである。

名詞の指導についての私見

園児に基本的な生活語彙としての名詞を身に付けさせるため、保育者は、体験活動や遊びを計画

的に年間計画に位置づけると共に、児童文化財に接する場づくりを図り、今まで以上に園児の毎日の生活を充実させることが重要である。その上で、年間計画に位置付けた体験活動等に当たっては、計画通りにただ体験させるだけでなく、今まで以上に保育者が言葉を添えて体験させたり、幼児自身におしゃべりさせたりしながら、体験や物と言葉とを結びつけさせるように支援しなければならない。

また、動物・植物・果物・鳥・昆虫・魚等の名詞については、園内に飼育舎や花壇等に触れ合える環境を整えることをしなくてはならない。一方、そのような環境を園内に整えることのできない名詞については、動物園や水族館等の見学や近くの田畑を借りての栽培や遠足的行事等を計画的に実施し、確実にそれらと触れ合うことを通して、言葉を習得させるようにしなければならない。

ところで、名詞を事物と結んで理解させる指導においては、「机、椅子、ハサミ、ブロック、塀、鉛筆、クレヨン、チューリップ、鯉」などの事物にそのままつけた名前、つまり言葉がそのまま物を指している言葉は、実物を見せ、保育者が実物を言葉で表現してみせたり、園児自身に表現させたりして、言葉を自分のものにする体験を積み重ねさせるのである。また、「岡、門、神社、庭、花壇、菊」等は、くどくどと説明するより、実際その場に行ってそれを前にして「これが、花壇です。あれが神社です。」と事物と言葉を結びつけるように話してやれば良い。一方「お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん」等は、実人物と結んで理解させるのであるが、この場合「私のお母さん」というように当初は固有の意識が強いから、それを抽象化して一般語彙としての「お母さん」へと概念づくりの場を設けなければならない。

さらに、「熊や狐」等のように園内に実物がいない場合や「寺や神社」等のように現場に行くことができない場合は、絵本や図鑑、紙芝居、それにテレビ・ビデオ等を活用する間接体験をさせるのである。しかしながら、できる限り直接体験が望ましいので「パンダ、ライオン、ダチョウ、イルカ」等の動物の場合は、動物園や水族館等への見学行事を実施しなければならない。その際、保育者は、漠然と動物を見て回らせるのではなく、指で指し示しながら「これがライオンですよ。」と対象と言葉を結びつけるようにするのである。

また、「朝、昼、夜、昼間、夕方、午前、午後、正午」等の概念語は、生活経験と結びつけないとなかなか身につかない言葉であるので、しっかりと通常の生活を見つめさせ、言葉でそれを理解・表現する場づくりをしなければならない。

動詞について

動詞の結果

名詞の次に多かったのが、動詞の404語であった。この動詞を、知的行動、生活行動、行為・成立、存在・有用、対人活動、異同、移動、入出、開閉、音に分類し、下の表3に示した。

動詞の考察と指導についての私見

動詞を、知的行動、生活行動、行為・成立、存在・有用、対人活動、異同、移動、入出、開閉、音に分類したことから分かるように園児の基本的な生活に関係した動詞ばかりであった。このことから言えることは、保育者は、上記の動詞を周知し、その上でそれら動詞を使用する体験活動を

表3 動詞の分類別使用数

ジャンル	語	回数	ジャンル	語	回数	ジャンル	語	回数
知的行動88	書く	12	生活行動	泳ぐ	2	行為・成立	なる	4
	見る	9		被る	2		始まる	4
	話す	8		支える	2		消す	1
	呼ぶ	5		滑る	2		倒れる	1
	描く	5		背負う	2		顧く	1
	聞く	4		食べる	2		やる	1
	見せる	4		使う	2	いる	60	
	言う	3		泣く	2	ござる	5	
	歌う	3		振る	2	ある	3	
	答える	3		結ぶ	2	足りる	1	
	確かめる	3		転ぶ	2	集める	2	
	つながる	3		洗う	1	呉れる	2	
	数える	3		置く	1	届ける	2	
	選ぶ	1		押さえる	1	話し合う	2	
	見付ける	1		隠す	1	つかまる	1	
	見守る	1		飾る	1	もらう	1	
	喜ぶ	1		着る	1	上り下り16	挙げる	7
	教え合う	1		くぐる	1		登る	2
	呼び掛ける	1		蹴る	1		降る	2
	読み聞かす	1		触る	1		落とす	1
	思う	1		仕舞う	1		下げる	1
	がんばる	1		吸う	1		乗せる	1
	加わる	1		曇む	1	浮く	1	
	探す	1		立てる	1	落ちる	1	
	作る	1		垂れる	1	異同2	違う	2
	直す	1		漕ぐ	1	移動42	向く	12
	做う	1		飛ぶ	1		歩く	11
	並べる	1		取る	1		並ぶ	6
	守る	1		投げる	1		走る	4
	分かる	1		脱ぐ	1		行く	2
	知る	1		眠る	1		来る	2
読む	1	飲む	1	帰る	1			
座る	11	履く	1	届く	1			
叩く	5	弾く	1	止まる	1			
立つ	5	吹く	1	渡る	1			
つなが	5	踏む	1	集まる	1			
遊ぶ	5	撒く	1	入れる	4			
乗る	4	待つ	1	入出6	出す	1		
尖る	4	盛る	1		出る	1		
合う	3	渡す	1		掛ける	5		
付く	3	余る	1		開ける	2		
付ける	3	伸びる	1		重ねる	2		
跳ぶ	3	寝る	1		空く	1		
始める	3	走る	1	当てる	1			
捨う	3	終る	1	窄める	1			
持つ	3	止める	1	開く	1			
踊る	2	する	12	広げる	1			
合わせる	2	行為・成立27	できる					

保育の中に計画的に位置づけ、繰り返し体験させなければならないということである。なお、この体験活動に際しては、「いつ」「どんな」「どんなに」「する」などに属する動詞は、実際に園児に動作化させたり、経験を想起させたりしなければならない。また、「掛ける、開ける、並べる、被せる、重ねる」などの「する」に属する動詞は、口頭で説明して理解させるのは難しく、説明すればするほど実際の意味から遠ざかっていくものである。例えば、「歩く」の意味を「両足をかかわるがわる前に出し、体全体を違う場所に運ぶこと」と説明しても分かりにくい。それよりも、実際に歩かせたり、歩いて見せたりの方がよい。このように、保育者は、動詞の指導において、園児が動詞一つ一つを実感できるように環境を設定することが重要である。

形容詞と形容動詞について

形容詞と形容動詞の結果

形容詞と形容動詞を下の表4に示した。

表4 形容詞と形容動詞の使用数

ジャンル	語	回数	ジャンル	語	回数	ジャンル	語	回数
形容詞42	丸い	5	形容詞	美しい	1	形容動詞17	大(だい)	5
	赤い	4		うらめしい	1		きれいだ	2
	大きい	4		おいしい	1		真剣だ	2
	ない	4		多い	1		たくさん	2
	新しい	3		同じ	1		どんなだ	2
	かわいい	3		黄色い	1		一緒だ	1
	楽しい	3		白い	1		そうに	1
	良い	3		少ない	1		にこやかだ	1
	嬉しい	2		正しい	1		まっすぐだ	1
	痛い	1		広い	1			

形容詞と形容動詞の考察

形容詞は、日本語の中に1000以上あるが、小学1年教科書の最初の単元での形容詞の使用は、20と少なかった。この事実から、小学1年の最初の教科書単元では、新1年生がスムーズに授業に取り組めるように、「丸い、大きい」等のように物や状態や様子を表す生活に密着した形容詞だけが使われていることが分かった。確かに、実際に園での園児たちは、大小・長短・高低・新旧・好嫌・善悪・色などの物の状態や様子を表す生活に密着した「丸い、大きい、楽しい」などの形容詞を多用している。

そこで、園児への形容詞の指導については、例えば「多い、少ない、大きい、広い、痛い」や「美しい、かわいい、うれしい、おいしい、正しい」などの形容詞は、語釈すればするほど難しく、実際の意味から遠ざかっていくので、辛抱強くかつ慎重に経験による実感を掘り起こし、それと言葉を結びせるより他には手がないだろう。

形容動詞も、日本語の中に1000以上あるが、形容動詞の使用は9と極めて少なかった。この形容動詞の指導においては、保育の中で無理して場づくりするのではなく、「きれいだ、真剣だ、にこやかだ」等は、その場に合った言葉を繰り返し繰り返し使わせれば良いだろう。つまり、保育者は、体験活動の中で園児に形容動詞の微妙な意味のニュアンスを的確に掴ませるようにしなければならないのである。

助詞、助動詞、副詞、オノマトペ、接頭語・接尾語・間投詞について

助詞、助動詞、副詞、オノマトペ、接頭語・接尾語・間投詞の結果

助詞、助動詞、副詞、オノマトペ、接頭語・接尾語・間投詞を下の表5に示した。

助詞、助動詞、副詞、オノマトペ、接頭語・接尾語・間投詞の考察

助詞は、「の」が72回、「を」が67回、「て」が63回、「が」が33回、「に」が31回、と圧倒的多くに使われていた。助動詞は、「ます」が12回、「う・た・よう」が10回、「です」が9回、と多用されていた。これらは、園では日常的に使っている言葉であるばかりでなく、まとまった表現をする上ではどうしても必要な言葉である。これらの言葉の指導としては、保育者は、毎日の生活の中で、

表5 助詞～間投詞の使用数

ジャンル	語	回数	ジャンル	語	回数	ジャンル	語	回数
助詞368	の	72	助動詞	そうな	1	オノマトペ	どんどこどん	1
	を	67		だ	1		によろによろ	1
	て	63		れる	1		びよんと	1
	が	33		よろしく	4		ひりひり	1
	で	33		また	2		ぶつぶつ	1
	に	31		いろいろ	1		わくわく	1
	と	14		うとうと	1		さん	10
	は	13		えいえい	1		おはよう	5
	よ	10		きちんと	1		はい	4
	な	7		しっかり	1		ありがとう	4
	ね	7		ちょうど	1		さようなら	4
	か	6		どうぞ	1		お	3
	かな	4		ばっちり	1		君	2
	だ	4		前に	1		様	2
	た	2		まっすぐ	1		達(たち)	2
	も	1		ようこそ	1		さあ	2
や	1	たんたんたん	3	バイバイ	2			
助動詞50	ます	12	オノマトペ21	とんとんとんとん	3	ああ	1	
	う	10		びりびり	2	いってきます	1	
	た	10		ふうふうふう	2	いってらっしゃい	1	
	よう	10		らんらんらん	2	おめでとう	1	
	です	9		くるり	1	おやすみなさい	1	
	たい	5		それっ	1	それっ	1	
	そう	2		どきどき	1	ただいま	1	
						接頭語・感嘆詞等47		

一語で話させることをせずに、文として話させるように心がけなければならない。

また、副詞、オノマトペ、接頭語・接尾語・間投詞等の言葉も、幼児が日常生活において言語表現をする上で、どうしても使わなければならない言葉ばかりである。これらの言葉は自然習得するしかないだろう。そこで、保育者は、幼児がこのような言葉を使わなくてはならない場づくりをするのである。その際、助詞・助動詞の指導と同じく、文として表現するように支援しなければならない。そのためには、保育者が正しくまとまった文をもって園児に話しかけることが大切である。この時、園児がたとえ、間違った表現をしたとしても、保育者は、それを否定して修正させるのではなく、同じような場面で表現して見せて、正しい表現に気付かせるのである。このようにして、何度も何度も表現活動をする中で、これらの言葉を園児が自分のものにするようにしなければならないのである。

まとめ

はじめに、小学1年教科書（国語・算数・生活・道徳）の最初の単元で使用されている言葉は、総数で2254語 {初出784語} で、それらは園児にとって、通常の園生活で習得できる基本的な生活語彙ばかりであることが分かった。従って、保育所・幼稚園・認定こども園等においては、保育者は、責務として少なくとも小学1年生で最初の授業で使う言葉を周知して、これらの言葉を園児に習得させて、卒園させなければならないのである。換言すると、保育者は、園児の園での日常生活を充実させることを通して、3000語程度の基本的な生活語彙を習得させた上で卒園させなければならない

い責務を負っているということになる。

次に、園児が言葉を習得していく過程は、「じっと耳を澄まして大人の言葉を聞き」そしてそれを、「真似して話して」修正を加えながら、「しっかりとした表現になっていく」し、言葉を増やしていくのである。このことを踏まえた上で、保育者は、園児の生活に必要な基本語彙を含む体験・遊び・読み聞かせ・お話等を年間計画に位置付けて、確実に実践しなければならない。その際、保育者は、常に園児に向かって語り掛けることを通して言語習得の支援をしなければならない。また、この体験等の中で、園児自身が自ずと喋り出すように援助することが肝要である。要は、ただ体験させるだけでなく、そこに言葉を園児が意識するように体験活動等を仕組まなければならないのである。

参考文献

- 秋田喜代美 他106名. (2019). あたらしい こくご 一 上 (令和2年版小学1年国語教科書): 東京書籍株式会社.
- 加藤 明 代表. (2014). あたらしいせいかつ 1 上 (平成27年版小学1年生活教科書): 東京書籍株式会社.
- 藤井斉亮 他41名. (2012). あたらしい さんすう 1 上 (平成24年版小学1年算数教科書): 東京書籍株式会社.
- 渡邊 満・押谷由夫. (2017). あたらしい どうとく 1 (平成30年版小学1年道徳教科書): 東京書籍株式会社.